

# カリフラワー登録農薬適用表(1)(殺菌・除草)

登録内容は2021年10月1日現在

用途	劇毒	RAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	IRAC 8	クロールピクリン	-	1回	<圃場>2~3ml/1穴	-	ケラ、ネキリムシ類、ハリガネムシ類、センチュウ類、一年生雑草、萎黄病	-	-	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	
						<床土・堆肥>3~5ml/1穴	-							
	劇	FRAC M3 RAC 8	ガスタード微粒剤	は種又は定植21日前まで	1回	20~30kg	-	根こぶ病、一年生雑草	-	-	微粒剤	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する	ダゾメット	

用途	劇毒	FRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率(10a当り使用量)	100%調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺菌剤		29	フロンスайд粉剤	は種時又は定植前	1回	15~20kg	-	根こぶ病	-	-	粉剤	作条土壌混和	フルアジナム		
						30~40kg	-					全面土壌混和			
			29	フロンスайдSC	定植前	1回	500ml(100~2000)	-	根こぶ病	-	-	SCフロアブル	全面散布土壌混和	フルアジナム	
			36	ネビリュウ	定植前	1回	20kg	-	根こぶ病	○	×	粉粒剤	作条土壌混和	フルスルファミド	
					20~30kg		-	全面土壌混和							
			21	オラクル粉剤	定植前	2回以内	30kg	-	根こぶ病	○	-	粉剤	全面土壌混和	アミスルプロム	
					20kg		-	作条土壌混和							
			21	オラクル顆粒水和剤	定植前	2回以内	300g(1000)	-	根こぶ病	○	-	顆粒水和剤	全面散布後土壌混和	アミスルプロム	
					1回	200~500倍セル成型育苗トレイ1箱(30×60cm、使用土壌約3~4L)当り500mL	-	灌注							
			21	ランマンフロアブル	定植前日~当日	1回	500倍セル成型育苗トレイ1箱(30×60cm、使用土壌約2.5~7L)当り20	-	根こぶ病	○	△	フロアブル	灌注	シアゾファミ <sup>®</sup>	
				収穫14日前まで	2,000倍(250ml/株)		-	株元灌注							
				収穫3日前まで	4回以内		2,000倍(100~3000)	50ml					べと病		
			P2	オリゼメート粒剤	定植時	1回	6~9kg	-	軟腐病	○	×	粒剤	全面土壌混和	プロベナゾール	
		31	スターナ水和剤	収穫14日前まで	2回以内	2,000倍(100~3000)	50g	軟腐病	○	○	水和剤	散布	オキシリニック酸		
		1	トップジンM水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~3000)	50g	菌核病	○	○	水和剤	散布	チオファネートメチル		
		7	アフェットフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~3000)	50ml	菌核病	○	×	フロアブル	散布	ベンチオピラド		
		M1	ヨネボン水和剤	収穫前日まで	4回以内	500倍(100~3000)	200g	黒腐病	○	×	水和剤	散布	ノルフェノールスルホン酸銅		

用途	劇毒	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
茎葉除草剤 (選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期(収穫7日前まで))	1回	150~200ml(100~1500)	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布	セトキシジム	
茎葉除草剤 (非選択性)	毒	ブリグロックスL	播種又は植付前 雑草生育期・畦間処理 (収穫30日前まで)	3回以内	600~1,000ml(100~1500)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	ジクワット・パラコート	

# カリフラワー登録農薬適用表(2)(殺虫)

登録内容は2021年10月1日現在

用途	劇毒	IRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		3	ガードベイトA	生育初期	5回以内	3kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	株元散布	ペルメトリン	
		1	ダイアジノン粒剤5	播種時又は定植時 収穫30日前まで	2回以内	生育期の処理は1回 4~6kg 4~6kg	— —	ネキリムシ類、ケラ コガネムシ類幼虫	— —	— —	粒剤	作付前: 全面土壌混和又は作業土壌混和 作物生育中: 作業処理して軽く覆土	ダイアジノン	
	劇	1	エルサン乳剤	収穫14日前まで	2回以内	1,000~2,000倍(100~300g) 1,000倍(100~300g) 1,000~1,500倍(100~300g)	100~50ml 100ml 100~67ml	アオムシ、アブラムシ類、ハイマダラノメイガ、キスジノハムシ ハスモンヨトウ、ヨトウムシ、アザミウマ類、カラハハチ幼虫 コナガ	速	短	乳剤	散布	PAP	
	劇	1	ランネット45DF	収穫7日前まで	2回以内	1,000倍(100~300g)	100g	アブラムシ類、ヨトウムシ	速	短	ドライ フロアブル	散布	メソミル	
	劇	2	プリンスフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	コナガ、ハイマダラノメイガ	遅	長	フロアブル	散布	フィプロニル	
		29	ウララDF	収穫14日前まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50g	アブラムシ類	遅	長	顆粒 水和剤	散布	フロニカミド	
		4	アクトラ顆粒水溶剤	収穫7日前まで	3回以内	2,000~3,000倍(100~300g)	50~33g	アブラムシ類	中	長	顆粒 水溶剤	散布	チアトキサム	
	劇	4	モスピラン顆粒水溶剤	収穫7日前まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50g	アブラムシ類、コナガ、アオムシ	中	長	顆粒 水溶剤	散布	アセタミプリド	
		30	グレーシア乳剤	収穫7日前まで	2回以内	2,000~3,000倍(100~300g)	50~33ml	アオムシ、コナガ、ネキアザミウマ、ハスモンヨトウ	速	長	乳剤	散布	フルキサメタミド	
		30	プロフレアSC	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25ml	コナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ、オオタバコガ ウバノコガ類、ハイマダラノメイガ	速	長	フロアブル	散布	プロラニリド	
	劇	13	コテツフロアブル	収穫3日前まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	コナガ	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナピル	
		5	スピノエース顆粒水和剤	収穫3日前まで	3回以内	5,000倍(100~300g)	20g	コナガ	速	短	顆粒 水和剤	散布	スピノサド	
		5	ディアナSC	収穫前日まで	2回以内	2500~5,000倍(100~300g)	40~20ml	コナガ、アザミウマ類、アオムシ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、 ハイマダラノメイガ	速	短	フロアブル	散布	スピネトラム	
		6	アフーム乳剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000~2,000倍(100~300g)	100~50ml	コナガ、アオムシ、アザミウマ類、オオタバコガ	速	短	乳剤	散布	エマメクテン安息香酸塩	
		6	アニキ乳剤	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍(100~300g)	100~50ml	コナガ、ハスモンヨトウ	速	短	乳剤	散布	レピメクテン	
		9	コルト顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	4,000倍(100~300g)	25g	アブラムシ類	中	中	顆粒 水和剤	散布	ピリフルキナゾン	
		28	プレバソフロアブル5	育苗期後半~定植当日 収穫前日まで	1回以内 3回以内	100倍 セル成型育苗トレイ1箱(約30× 60cm、使用土壌約1.5~4g)当り0.5g 2,000倍(100~300g)	— 50ml	アオムシ、コナガ、ハスモンヨトウ コナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ	速	長	フロアブル	灌注 散布	クロラントラニプロール	
		28	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	コナガ、ハイマダラノメイガ、ヨトウムシ	速	長	顆粒 水和剤	散布	フルベンジアミド	